

小学校道徳科における 評価の在り方に関する研究

—児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り，評価する方法の充実を目指して—

《補助資料目次》




I	道徳科における評価の方法について(評価フォーマット)	1
II	授業1について	3
III	授業2について	9
IV	授業3について	13
V	授業4について	19
VI	学習シートの記述例	24
VII	道徳通信	27
VIII	実際の評価例	38
IX	アンケート	44





平成30年3月
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 奥州市立水沢南小学校
赤瀬光雄

I 道徳科における評価の方法について

実際の評価の際に活用した評価フォーマットを【表1】【表2】に示す。

【表1】 評価フォーマット①<発言や記述から表出する児童の様子>

視点	見取りのポイント	キーワード	児童の発言・記述例	評価記述例	
児童が 一面的な 見方から 多面的・ 多角的な 見方へと 発展させ ているか	ポイント① 道徳的価値に関わる問題 に対する判断の根拠やその ときの心情を様々な視点か ら捉え考えようとしている。  <多面的・多角的①> 登場人物の判断の根拠・ 心情を 様々な視点 から捉 え、考えようとしている。	・理由 ・気持ち ・様々な 視点	横断的	・登場人物は〇〇とい う考えと、〇〇とい う考えで迷っていた けど、〇〇という理 由から、〇〇をした と思う。	・登場人物が〇〇したと きの気持ちを考え、〇 〇や〇〇という考えが あることを捉え、〇〇 という自分の意見を記 述することができまし た。
			縦断的	・道徳の学習を通して、 〇〇について〇〇だ と思っていたけど、 〇〇という考えもあ るのだと思った。	・道徳の学習を通して、 〇〇について、〇〇や 〇〇などの様々な立場 から考えることができ るようになりました。
	ポイント② 自分と違う立場や感じ 方、考え方を理解しようと している。  <多面的・多角的②> 自分と違う 友達の意見 を理解しようとしてい る。	・友達の 意見 ・友達の 考え ・友達の 話	横断的	・自分は〇〇と考えて いたけど、〇〇さん の話を聞いて、納得 した。	・友達の話から〇〇とい う自分の考えを広げる ことができました。
			縦断的	・道徳の学習を通して、 〇〇という友達の考 えを聞いて、自分の 考えが変わることが 実感できた。	・道徳の学習を通して、 友達の〇〇という考え を受け入れながら、自 分の考えを広げるこ とができるようになり ました。
	ポイント③ 複数の道徳的価値の対立 が生じる場面において取り 得る行動を多面的・多角的 に考えようとしている。  <多面的・多角的③> 対立する場面において 相手の立場 になって理解 しようとしている。	・相手の 立場	横断的	・〇〇のとき、〇〇か、 〇〇かで迷ってしま うけど、どちらの考 えも大切だと思っ た。	・〇〇の学習では、〇〇 について〇〇と〇〇の 両方の立場で考えるこ とができました。
			縦断的	・いろいろな意見を聞 いて、いろいろな考 え方があると思っ た。自分とは違う考 えも理解できるよう になった。	・〇〇について、様々な 考えがあると理解し、 相手の立場になって考 えることができるよう になりました。

視点	見取りのポイント	キーワード	児童の発言・記述例		評価記述例
道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか	ポイント① 登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。  <自分自身①> 「自分なら」と考え、イメージして理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 自分だったら 自分は ぼくは わたしは 	横断的	<ul style="list-style-type: none"> 自分だったら〇〇すると思うけど、〇〇は〇〇という行動をして、すごいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇の学習では、登場人物の行動を理解し、自分のこととして捉え、〇〇について考えることができました。
			縦断的	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で、自分だったらどうするかについて話し合い、〇〇について自分のことをいろいろ考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の学習を通して、〇〇について自分のことと重ね合わせて考えることができるようになりました。
	ポイント② 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。  <自分自身②> 「今までは」と自分のことを振り返っている。	<ul style="list-style-type: none"> 今までは これからは 振り返り 	横断的	<ul style="list-style-type: none"> 今までは〇〇していたけど、これからは〇〇しようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇の学習では、自分の生活を振り返り、〇〇しようとする決意をもつことができました。
			縦断的	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を改めて振り返り、〇〇について真剣に考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の学習では自分の生活を振り返って、〇〇について自分のこととして考えることができるようになりました。
	ポイント③ 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。  <自分自身③> 友達の意見を聞き、さらに理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の話を聞いて ～することは大切 	横断的	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇について、〇〇さんの考えを聞いて、〇〇することがとても大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇の学習では、友達の意見を聞いて、〇〇することが大切だと、深く考えることができました。
			縦断的	<ul style="list-style-type: none"> みんなの考えを聞くことができ、〇〇について友達の気持ちが分かったし、自分の気付かない気持ちが分かるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業を通して、友達の考えを聞いて、〇〇について深く考えることができるようになりました。
	ポイント④ 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。  <自分自身④> 登場人物の行動に共感するなど、実現することの難しさを自分のこととして捉えている。	<ul style="list-style-type: none"> 難しい なかなかできない 大変 	横断的	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物は〇〇したけど、自分には、なかなかできないことだと思った。自分にできることは〇〇だと思うので実現できるようにがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇することは、とても大変なことだと捉え、自分にできることは〇〇することだと考えることができました。
			縦断的	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇することや〇〇することは、とても難しいと思っていたけど、〇〇することが大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇することの難しさについて捉えた上で、自分の考えをもつことができました。

【表2】 評価フォーマット②<発言や記述ではない形で表出する児童の様子>

	見取りのポイント	評価記述例
体験的な学習	<p><実感を伴った理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについての自分の考えを演じている。 ・「自分なら」とイメージして行動している。 ・友達の演技を見て、さらに理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の学習では、進んで〇〇にとり組み、〇〇について考えることができました。 ・体験的な学習においては、登場人物の〇〇という気持ちを考え、〇〇が大切だということを台詞と体の動きで表現することができました。 ・体験的な学習においては、主人公と自分とを重ねて考えて、その場面における〇〇という気持ちや〇〇という行動を表現することができました。 ・友達の演じる姿から、さらに〇〇について考えを深めることができました。
態度面	<p><表情の変化・うなずき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情が良い方向に変わっている。 ・話を聞いてうなずいている。 ・真剣に話を聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇について、大きくうなずく姿から、自分のこととして〇〇を考えている様子が伝わりました。 ・友達の話をうなずきながら聴き、よく考えている真剣な姿が見られました。 ・相手をよく見て、〇〇について真剣に考えることができました。
児童の思考を表出させる活動	<p><心情円盤やネームプレート等の教具の動き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化している。 ・変化していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の学習では、登場人物の心情を理解し、〇〇について考えを広げることができました。 ・〇〇について、自分の考えを明確にし、じっくり考えている様子が伝わりました。

II 授業1について

1 指導案

- 1 主題名 自分の心に誠実に (内容項目A-2 正直, 誠実)
教材名 「手品師」(出典「みんなのどうとく5年」 学研)
- 2 ねらい 腕はいいが、あまり売れない手品師が仲の良い友人からの大劇場に出るチャンスのお話をもらうことで、夢か、約束かを迷う姿を通して、自分自身に対して誠実に生きようとする道徳的心情を育てる。
- 3 主題設定の理由
 - (1) 道徳的価値について
小学校第5学年及び第6学年の内容項目〔正直, 誠実〕は、「誠実に、明るい心で生活すること。」である。これは中学校の「自立の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。」に発展していく。
本主題では、「主人公が夢か、約束かを迷う姿を通して、自分自身に対して誠実に生きようとする

道徳的心情を育てる。」ことをねらいとしている。児童が健康的で積極的に、自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。特に高学年では、自分自身に対する誠実さがより一層求められ、他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にすることで、自己を向上させることや自信にもつながっていくものである。

(2) 児童について

児童は、高学年としての自覚をもち、明るく友達との関係を大切にしながら学校生活を送っている。しかし、自分の都合を優先したり、相手の気持ちを考えずに行動したりすることも見られる。また、相手の気持ちばかり意識することで、自分自身の考えを言ったり、行動したりすることをためらう児童もいる。

(3) 教材について

腕はいいがあまり売れない手品師が、男の子に手品を見せるという約束か、友人からの誘いで大劇場のステージに立つかを迷うという内容である。迷いに迷った後、二度と回ってこないかもしれないチャンスを無駄にしてまでも、男の子のために約束を守った手品師の誠実な生き方が描かれている。自分の夢か、男の子との約束かという手品師の葛藤する姿から、誠実な生き方とは何かを考えることができる教材である。

(4) 指導に当たって

指導に当たっては、主人公が自分の夢か、約束かを迷う姿に共感させ、自分ならどうするかを考えさせることで誠実に生きるとはどういうことかを捉えさせたい。自分の考えを明らかにするために、ネームプレートを黒板に貼らせ、その根拠を子どもたちに話し合わせる活動を取り入れる。「どちらが正しいか」を問うのではなく、誠実とはどういうことかを自分の経験を基に自分なりの考えをもつことができたかを大切にしたい。

4 研究との関わり

(1) 発言から表出する児童の様子からの見取り

展開前半では、『「きっとさ。きっと来るよ。」と約束した手品師はどんなことを考えていたのでしょう。』と手品師の心情を問うことで、手品師の気持ちとともに、約束したときの男の子のうれしさを捉えるようにする。その際、児童の発言から児童の様子を見取っていく。見取りの視点は、「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか」であり、見取りのポイントは「主人公の判断の根拠・心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。」とする。主人公の過去や未来、男の子にも目を向け、発言を通して一面的な見方から、多面的な見方へと発展していく様子を見取る。

また、展開後半では、「自分が手品師だったら、夢か、約束かどちらを選びますか。」と発問し、グループでの話し合い活動を取り入れることで、様々な角度から話し合いを行う中で表出した児童のつぶやきや発言などを座席表に記入していく。

(2) 記述から表出する児童の様子からの見取り

終末では「今日の授業で、誠実な生き方について学んだことや感じたことについて書きましょう。」と発問し学習シートに記述する活動を取り入れる。自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせたり、自分を振り返ったりすることで、主人公の気持ちを自分のこととして捉え、誠実について記述させる。自分の気持ちに正直に生きることや周りの人にも誠実に接することの大切さに

ついて記述させることで、児童が道徳的価値の理解を自分自身のかかわりの中で深めているかを見取っていく。見取りのポイントは、『自分なら』とイメージして、理解している。』『今までは』と自分のことを振り返っている。』『難しさを自分のこととして捉えている。』などとし、記述内容から見取っていく。

(3) 態度面からの見取り

発言や記述ではない形で表出する児童の様子として、主人公が自分の夢か、男の子との約束かを迷う場面において、自分の考えを明らかにするために、ネームプレートを黒板に貼らせ、その根拠を子どもたちに話し合わせる活動を取り入れる。その際の、友達の考えにうなずいている姿や聞き入っている姿に着目し、座席表にメモしていく。特に、発言が多くない児童や考えたことを文章に記述するのが苦手な児童を中心に態度面を見取っていく。

(4) 児童の思考を表出させる活動からの見取り

児童の考えを表出させるために、本授業ではネームプレートを活用する。主人公が自分の夢か、男の子との約束かを迷う場面において、自分だったらどちらを選ぶかについて児童の考えを表出させる。その後、根拠を交流することで児童の考えが多面的・多角的に変容する姿に着目する。また、交流後にネームプレートを移動しても良いことにし、その移動から心の変化を見取っていく。その際、見取りのポイントを「対立する場面において相手の立場に立って理解している。」「自分ならと考え、イメージして理解している。」「友達の意見を聞き、さらに理解を深めている。」などとする。

2 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点と見取り
導入	<p>1 「誠実な人」について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊敬する先生について話し、「誠実」の意味を確認し、誠実な人について知る。 <p>誠実：他人や仕事に対してまじめ 真心がこもっていること</p> <p>5 2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「誠実な人」について考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・価値について興味や関心をもたせる。
展開	<p>3 資料「手品師」を読んであらすじを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる手品師の挿絵を提示し、手品師が何に悩んでいるかを考える。 ・資料を読み、あらすじ、登場人物について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">手品師・・・うではいいがあまりうれない。 大きな劇場で、はなやかに手品をしたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">男の子・・・お父さんが死んで、お母さんは帰って来ない。</div> <p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「きっとさ。きっと来るよ。」と約束した手品師はどんなことを考えていたのでしょうか。</div> <p>「男の子のために約束をしっかりと守ろう。(相手)」 「喜んでくれてうれしい。(自分)」 「男の子の笑顔が何よりだ。(男の子の立場)」 「明日も喜んでもらおう。(未来)」 「喜んでくれる人がいるとこれからがんばれる。(未来)」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">迷いに迷った手品師は、どんなことを考えていたのでしょうか。</div> <p>「約束もあるが、劇場にも出たい。(葛藤)」 「ステージに立ちたい。(夢)」 「今までの苦労が報われる。(夢)」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">見取りの視点</div> <ul style="list-style-type: none"> ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと展覧させているか <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">見取りのポイント</div> <p>①主人公の判断の根拠・心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。 (過去・未来・自分・相手の立場)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">見取りの方法</div> <p>発言から表出する児童の様子(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男の子の約束をしっかりと守りたい。」という気持ちと「2度とないチャンスを無駄にしたくない」という気持ちで迷っていることを捉えさせる。

3 板書



4 学習シート

道徳 月 日 ()

名前 ()

テーマ

資料名

一 自分だったらどちらを選びますか。選んだわけも書きましょう。

夢 迷っている 約束

夢 迷っている 約束

二 テーマについて、今日学んだことや感じたことを書きましょう。

(メモ)

手品師の挿絵

Ⅲ 授業2について

1 指導案

1 主題名 謙虚に広い心で (内容項目 B—1 1 相互理解, 寛容)

教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(出典:「私たちの道徳 小学校5・6年」文部科学省)

2 ねらい 一人だけ目立とうとするサムに不満を募らせているピエロが、サムの演技後の姿を見ることで、相手の努力を認め、尊重し、共に協力してがんばっていこうと決意していく姿を通して、広い心で相手を受け入れようとする道徳的心情を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

小学校5学年及び第6学年の内容項目〔相互理解, 寛容〕では、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」を深めることを意図したものである。これは、中学校での内容項目「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」へと発展する。

本主題は、「広い心で相手を受け入れようとする道徳的心情を育てること」をねらいとしている。私たちは、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかつたりするなど、自己本位に陥りやすい弱さを持っている。しかし、相手から学ぶ姿勢を持ち、自分と異なる意見や立場を受け止めることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度は、多様な人間がよりよく生き、創造的で建設的な社会を創っていくために必要な資質・能力である。自分の弱さを自覚しつつ、相手の立場を受け止め、広い心をもって、自らを高めていける児童を育てたい。

(2) 児童について

児童は、友達と協力して活動したり、仲良く遊んだりしている。運動会や宿泊学習を通して、高学年としての自覚を持ち、リーダーとしての自覚も芽生えている。しかし、自己中心的な言動から友達とトラブルになることや、自分とは異なる意見に対して、受けとめたり、認めたりできないこともある。また、強く言いすぎたり、忠告や謝罪を素直に受け入れなかつたりすることもある。このようなとき、自分の意見や判断について見つめ直し、相手の立場や意見を受け入れることの大切さを育む必要があると考えられる。

(3) 教材について

自分こそがサーカス団のスターであると考え、決められた時間を守らず、一人だけ目立とうとするサムに対し、リーダーのピエロは怒りを覚える。しかし、サムの全力で打ち込む演技を見て、ピエロ自身に「我こそ団のリーダーである。」という自負やそれをサムに独占されてしまったことへの怒りやねたみの感情があったことに気付く。ピエロはそれらの感情を乗り越え、本来の自我を取り戻し、これからは、共にサーカス団を盛り上げていこうという自分の思いをサムに伝える。相手を受け入れることの難しさや大切さを実感し、それを乗り越えて互いを尊重し合うことのよさを自分との関わりで考えることができる資料である。

(4) 指導に当たって

指導に当たっては、主人公のピエロがブランコ乗りのサムに対して、不満を募らせている点に共感させるとともに、サーカス団を盛り上げていこうとする決意に至るまでの気持ちの変化に着

目させたい。その際、演技後のサムの様子を見て、ピエロの気持ちに変化していくことを捉えさせたり、自分だったらサムを許せるかを考えさせたりする。こういった学習活動を通して、サムを許し、協力していくことが大切だという判断をしたピエロの気持ちに気付かせ、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することの大切さについて考えさせたい。

4 研究との関わり

(1) 発言から表出する児童の様子からの見取り

ピエロがブランコ乗りのサムに対する気持ちについて発問する。時間を過ぎても演技を続けるサムに対するいらだちが高まる一方で、サムの一生懸命な姿から、そのいらだちはいつの間にか消えていく。ピエロの気持ちの変化やその理由を発言したり、話し合ったりする中で、多面的・多角的な見方へと捉えているかを見取っていく。

(2) 記述から表出する児童の様子からの見取り

終末では「広い心で相手を受け入れることについて今日学んだことや感じたことを書きましよう。」と発問し学習シートに記述する活動を取り入れる。自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせたり、振り返ったりすることで、主人公の気持ちを自分のこととして捉え、誠実について多面的・多角的に考え、記述させる。広い心について、児童が自分自身のかかわりの中で深めているかを見取っていく。見取りのポイントは、『自分なら』とイメージして、理解している。『今までは』と自分のことを振り返っている。』などとし、記述内容から見取っていく。

(3) 態度面での変容からの見取り

発言や記述ではない形で表出する児童の様子として、ピエロがサムに対する気持ちの変化を心情円盤に表していく。また、「自分だったらサムを許せますか。」と発問し、そのときの気持ちの葛藤を心情円盤に表し、その根拠を子どもたちに話し合わせる活動を取り入れる。その際の、友達の考えにうなずいている姿や聞き入っている姿に着目し、座席表にメモしていく。特に、発言が多くない児童や考えたことを文章に記述するのが苦手に児童を中心に態度面を見取っていく。

(4) 児童の思考を表出させる活動からの見取り

児童の思考を表出させるために、心情円盤を活用する。主人公のピエロがサムを憎む気持ちを心情円盤に表すことで、憎む気持ちがどのように変わっていくかを表出させる。その後、根拠を交流することで児童の考えが多面的・多角的に変容する姿に着目する。また、「自分だったらサムを許せますか。」と発問し、心情円盤を活用して、考えを表出させることで、自分のこととして捉え、自分の考えをもたせたい。見取りのポイントは、「主人公の判断の根拠・心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。」「対立する場面において相手の立場になって理解している。」などとし、謙虚で広い心について自分自身との関わりの中で深めているかを座席表にメモしていく。

3 板書



4 学習シート

道徳 月 日 ()

名前 ()

テーマ

資料名

一 心情円盤で表し、わけも書きましょう。

(メモ)

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだこと・感じたことを書きましょう。

サム挿絵

IV 授業3について

1 指導案

- 1 主題名 きまりはだれのために (内容項目 C-1 2 規則の尊重)
教材名 「シンガポールの思い出」 (出典: 「5年生の道徳」 文溪堂)
- 2 ねらい たくさんのきまりで、町をきれいにすることが本当の良いかを考える主人公の姿を通して、きまりを守ろうとする道徳的な実践意欲と態度を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

小学校5学年及び第6学年の内容項目〔規則の尊重〕では、「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。」を深めることを意図したものである。児童が成長することは、集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことである。そのためにも、約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。さらに、権利と義務という観点から、自他の行動などについて考えを深めたり、尊重したりしていくように発展させていくことが大切である。

本主題は、「たくさんのきまりで、町をきれいにすることが本当の良いかを考える主人公の姿を通して、きまりを守ろうとする道徳的な実践意欲と態度を育てる。」をねらいとしている。法やきまりは、だれもが守るべきものであり、一人一人が快適で安心して生活ができる社会づくりを担っている。きまりと公德心の関係から、きまりのもつ意味やきまりを守る良さ、社会の一員として責任を果たすことについても考えさせたい。

(2) 児童について

児童は、高学年になり、学校や地域できまりを守って生活していることが多い。しかし、きまりは知っていても、どうしてそれを守らないといけないのか、みんなが守ることでどんな良いことがあるか、などについて深く考えていないのが現状である。また、きまりを知ってはいるが、それを守ろうとする意識が低い児童が見られる。そこで、きまりを守ることは大切だと知っているが、どうしても守ることのできない自分の弱さがあることを捉えさせた上で、進んで守ろうとすることがお互いに気持ちの良い生活につながることを理解させたい。また、自己の生活を振り返り、きまりの意義を理解した上で、進んできまりを守ろうとする児童を育てたい。

(3) 教材について

シンガポールから帰国した主人公が、日本の町の様子に違和感をもつ。シンガポールでは、きまりをたくさん作ることで町の環境を維持しているが、同僚の言葉をきっかけに「本当にそれで良いのか」を考え始めるという内容である。主人公と同僚がきまりについて異なった考え方を述べ合っている様子を中心に、公德心ときまりの関係、きまりのもつ意味や社会の一員として責任を果たすことについて考えさせることができる教材である。

(4) 指導に当たって

指導に当たっては、シンガポールの町並みを気持ちよかったと言う主人公の気持ちを考えさせると共に、その町並みはたくさんのきまりがあることで成り立っていることを理解させたい。その上で、同僚の言葉から主人公が考え始める場面を取り上げ、「たくさんのきまりで生活をよくすることに賛成か、反対か」について考えさせる。自分の考えを明らかにし、根拠を話し合わせたい。その際、ネームプレートを活用し、自分だったらどちらの立場をとるのかをはっきりさせた上で、その理由を交流する。たくさんのきまりがあるについてのよさとともに問題点を考えることで、多面的・多角的な見方に発展できるようにしたい。また、自分のこととして考えられるように、日常生活を振り返ったり、これからについて考えたりしながら学習を進めたい。

4 研究との関わり

(1) 発言から表出する児童の様子からの見取り

授業の展開では、「日本の町のすがた（自転車、階段、たばこの吸いがら）を見たわたしは、どんなことを考えたのでしょうか。」と発問し、シンガポールと日本を比較している主人公の心情を様々な視点から捉え、考えようとしているかを見取る。

(2) 記述から表出する児童の様子からの見取り

展開後半では、「あなたは、たくさんのきまりで生活を良くすることに賛成ですか。反対ですか。」と発問し、自分の考えを明確にするために、ネームプレートを活用する。その際、自分の意見とその根拠を学習シートに記述させる。見取りのポイントは、「たくさんのきまりで生活をよくすることに対して、様々な視点から捉えようとしている。」「『自分なら』とイメージして、理解している。」「『今までは』と自分のことを振り返っている。」などとする。ここでは、「きまりは少ない方が良い」「罰金をとられるのは、嫌だ」といった見方で記述すると考えられる。その根拠を大切にし、きまりを守ることについて「多面的・多角的な見方へと発展させているか。」「自分自身との関わりの中で道徳的価値を深めているか」について記述しているかを見取る。

終末では、きまりについて、学習したことを振り返って記述する。きまりを守ることについて、今日の授業で考えたこと・感じたこと、友達の考えを聞いて考えたことを記述させる。その際、自分のこととして考え、きまりを守る意義について、「自分なら」とイメージして、理解していることや、「今までは」と自分のことを振り返って記述しているかなどを見取っていく。

(3) 態度面からの見取り

展開後半では、「あなたは、たくさんのきまりで生活をよくすることに賛成ですか。反対ですか。」について、自分の考えとその根拠を話し合うことで、自分との関わりの中で、きまりを守ることについての友達の考えを理解しようとしているか、相手の立場に立っているかなど児童の考えが変容する姿に着目する。その際、発言や記述ではない形で表出する児童の様子を見取っていく。友達の考えにうなずいている姿や聞き入っている姿に着目し、児童が多面的・多角的な見方へと発展させているかを座席表にメモしていく。特に、授業記録用紙から発言が多くない児童や考えたことを文章に記述するのが苦手に児童を中心に態度面を見取っていく。

(4) 児童の思考を表出させる活動からの見取り

展開後半では、「あなたは、たくさんのきまりで生活をよくすることに賛成ですか。反対ですか。」と発問し、自分の考えを明確にするために、ネームプレートを活用する。どうして、そうしたのかの根拠を大切にし、4人グループや学級全体で話し合いを行い、ネームプレートの動きから児童の様子を見取っていく。

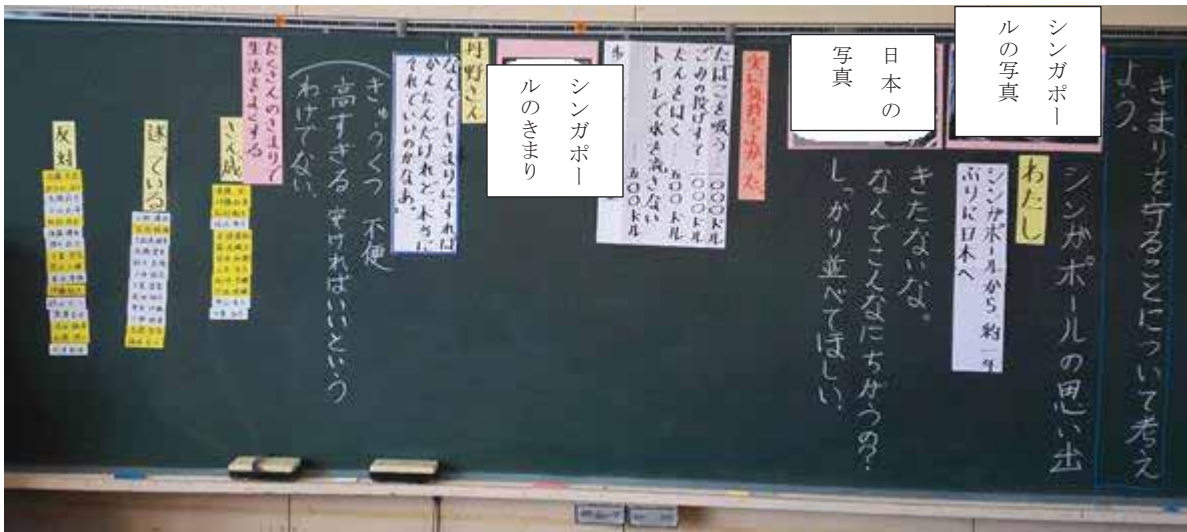
2 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点と見取り
導入	<p>1 きまりを守るについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のようなきまりがあったら、どう思うかを考える。 <div data-bbox="280 483 863 584" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校でゴミをポイ捨て（消しかすも）したら、罰金金 50 円です。</p> </div> <p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div data-bbox="280 680 847 736" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>きまりを守るについて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 国語の学習の提案書の作成と関連して考えさせる。 自分の意見を持ち、根拠を発表させる。 シンガポールでは、実際にたくさんのきまりで町をきれいに行っていることを知らせる。 シンガポールのきまりを提示し、テーマにつなげる。
展開	<p>3 資料「シンガポールの思い出」を読んであらすじを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を読む。 あらすじを確認する。 <p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <div data-bbox="280 1025 890 1171" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日本の町のすがた（自転車、階段、たばこの吸いがら）を見たわたしは、どんなことを考えたのでしょうか。</p> </div> <p>「きたないな。」 「いらいらする。」 「やめてほしい。」 「マナーを守ってほしい。」「いい気がしない。」</p> <ul style="list-style-type: none"> シンガポールのきまりを確認する。 <div data-bbox="280 1417 884 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「なんでもきまりにすればかんたんだけど、本当にそれでいいのかなあ」という丹野さんの言葉をどのように思いますか。</p> </div> <p>「すべてきまりにするのは本当にいいのかな。」 「きれいになるなら、きまりを作るのもいい。」 「きまりがないのもいいのではないか。」 「きゅうくつな気がする。」 「どっちがいいか、迷う。」</p> <div data-bbox="280 1854 884 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたは、たくさんのきまりで生活をよくすることに賛成ですか。反対ですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ネームプレートをはる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の町のすがたをあまり良く思っていない主人公の気持ちに共感させる。 <div data-bbox="927 1093 1406 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見取りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか <p>見取りのポイント</p> <p>①シンガポールと日本を比較している主人公の心情を様々な視点から捉えようとしている。</p> <p>②たくさんのきまりで生活をよくすることに対して、様々な視点から捉えようとしている。</p> <p>見取りの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言から表出する児童の様子（全体） 記述から表出する児童の様子（学習シート） 態度面（表情・うなずき） </div>

	<p><賛成> 「きまりがあると、町がきれいになる。」 「みんなの気持ちがいい。」</p> <p><反対> 「きまりがないとできないのはなさない。」 「きまりがなくてもちゃんとできる社会にしたい。」 「罰金はいや。」 「きまりがなくても町をきれいにしたい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの考えに、質問や意見がないかを確認する。 ・考えに変容があった児童は、ネームプレートを移動する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みなさんは、きまりを守っていますか。それはどうしてですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を振り返り、廊下歩行や黙働ができているかを確認する。 <p><守っている> 「きまりだから。」「守らないと怒られる。」 「お互いが気持ちよく生活するため。」</p> <p><守っていない> 「たまに話してしまう。」 「これくらいならいいかなと思う。」 「おもしろくないから。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>きまりを守るとどんないいことがありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下歩行や黙働について考える。 「掃除が早く終わる。」「きれいになる。」 「安全」「けがが少なくなる。」 <p>⇒みんなのため、自分のためになる。 気持ちがいい。トラブルがない。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の理解を自分自身のかかわりの中で深めているか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「自分なら」とイメージして、理解している。 ②「今までは」と自分のことを振り返っている。 ③友達の意見を聞き、さらに理解を深めている。 ④きまりを守る難しさを自分のこととして捉えている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見取りの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言から表出する児童の様子（全体） ・記述から表出する児童の様子（学習シート） ・児童の思考を表出させる活動（ネームプレート） ・態度面（表情・うなずき） </div>
30 終末	<p>5 きまりやマナーについての考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を振り返り、廊下歩行や黙働ができているかを確認する。 ・きまりやマナーを守ることや今日の授業で考えたこと・感じたことを記述する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①主人公の判断の根拠・心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見取りの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述から表出する児童の様子（学習シート） </div>

<p>終末</p> <p>10</p>	<p>6 教師の説話を聞く。</p> <p>一人一人がきまりを守って生活できるとい いですね。学校のきまりはもちろんですが、学 校の外でも同じです。きまりを破ると罰金、あ るいは罰則というものもあります。東京の千代 田区というところでは、たばこのポイ捨て禁 止条例というものがあります。</p> <p>進んできまりを守るとともに、相手に迷惑 をかけないということもとても大切です。</p>	
---------------------	--	--

3 板書



4 学習シート

<p>(メモ)</p> <p>シンガポールの写真</p>	<p>二 テーマについて、今日学んだことや感じたことを書きましょう。</p>	<p>賛成 迷っている 反対</p>	<p>一 自分だったらどちらを選びますか。選んだわけも書きましょう。</p>	<p>資料名</p> <p>テーマ</p>	<p>道徳 月 日 ()</p> <p>名前 ()</p>
------------------------------	--	----------------------------	--	-----------------------	---------------------------------

V 授業4について

1 指導案

1 主題名 礼儀は心のあらわれ（内容項目 B—9 礼儀）

教材名 「江戸しぐさに学ぼう」（出典：「私たちの道徳 小学校5・6年」文部科学省）

2 ねらい 江戸しぐさを知り、実際に体験したり、自分の生活を振り返ったりすることで、相手の立場になって、時と場に応じた心のこもった接し方をしようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

小学校5学年及び第6学年の内容項目〔礼儀〕は、「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。」であり、これは、中学校での内容項目「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。」へと発展していく。

本主題は、「時と場に応じた心のこもった接し方をしようとする道徳的実践意欲と態度を育てる」ことをねらいとしている。礼儀は、相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体となって表れてこそ、そのよさが認められる。礼儀正しい行為をすることで、自分も相手も気持ちよく過ごせるようになり、人間関係を豊かにし、社会生活を円滑に営む文化の一つであると言える。礼儀作法についてそのよさや意義を正しく理解し、時と場に応じて、適切な言動ができるようにしたい。

(2) 児童について

児童は、礼儀正しく生活することを意識して生活している。学校では日頃から「自分から挨拶」「伝わる挨拶」をすることを指導している。しかし、礼儀正しく生活することの良さや意義を理解しながらも、恥ずかしさから、時として心のこもった挨拶や言葉遣いが行為として表れない場面もある。また、教師からの一方的な押しつけにより、自分から進んで行うというより、させられていると感じる児童もいる。そこで、実際に江戸しぐさを体験することで、その良さや意義を実感し、これからの生活にいかせるようにしていきたい。

(3) 教材について

この教材は江戸の町に住む人たちが行ったと言われている「かさかしげ」「かた引き」「こぶしうかせ」といった「江戸しぐさ」について書かれた教材である。実際に江戸しぐさを体験することで、江戸の人たちがどのような気持ちを大切にしてきたかを考えることができ、礼儀について深く考えることができる教材である。また、現代の日常生活に置き換えてみることで、今の時代に生きる自分たちの礼儀について考えることができる教材である。

(4) 指導に当たって

「導入」の段階では、普段の登校班で、車が停まったときに挨拶をしていることを想起させる。そこから挨拶などの礼儀は社会生活を営む上で欠くことができないものであることを押さえ、テーマにつなげていく。

「展開前半」では、様々な「江戸しぐさ」について知り、児童自身が江戸しぐさを体験することで、江戸の人たちが大切にしたい気持ちを考えさせたい。そこから礼儀作法にこめられた相手を尊重する気持ちに気付かせたい。「展開後半」では、身近にある礼儀についてグループで話し合うことを通して、身の回りにある気持ちのよい礼儀を見直させると共に、心のこもった

礼儀作法が実践できるようにしたい。

4 研究との関わり

(1) 発言や記述から表出する児童の様子からの見取り

展開後半では「お互いが気持ちよく生活しようという思いをもって生活していますか。実際に行っていることはありますか。それはどんなことですか。」と発問し、4人グループで話し合いながら、学習シートに記述する活動を取り入れる。自分の経験を振り返り、そのときの考え方、感じ方を話し合うことで、お互いが気持ちよく生活をしようとする心構えについて記述させる。その際、どうしてその行動をするとお互いに気持ちがよいかを考えた根拠を大切にし、その根拠について様々な視点から捉えようとしているかを見取っていく。

(2) 児童の思考を表出させる活動からの見取り

児童の考えを表出させるために、本授業では体験的な学習を取り入れる。江戸しぐさを実際に体験することで、実感を伴った理解を促したい。相手を思いやる気持ちやみんなが気持ちよく過ごせるように行った江戸の人たちの気持ちを捉え、演技しているかを見取っていく。その際、見取りのポイントは、「テーマにおける自分の考えを演じている」「『自分なら』とイメージして行動している」「友達の演技を見て、さらに理解を深めている」とする。体験的な学習から表出する児童の様子やそれを見ている児童の様子から自身との関わりの中で道徳的価値を深めているかを見取り、座席表にメモしていく。

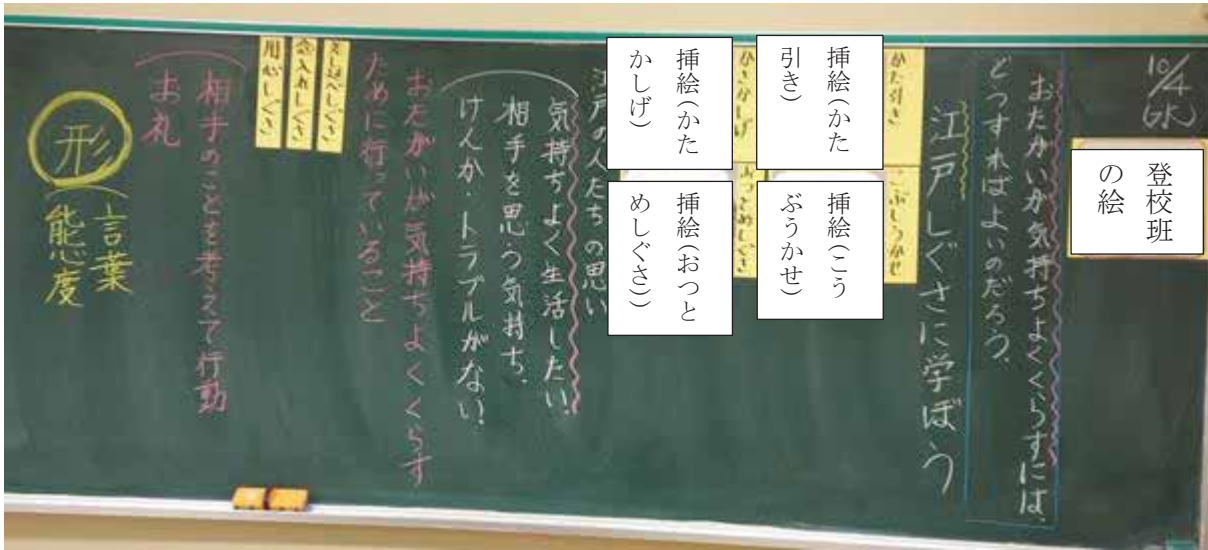
(3) 態度面からの見取り

発言や記述ではない形で表出する児童の様子として、体験的な学習を取り入れる。実際に行動することで相手を思いやる気持ちやみんなが気持ちよくなる行動について考え、行動しているかを見取っていく。特に、授業記録用紙から発言が多くない児童や考えたことを文章に記述するのが苦手に児童を中心に態度面を見取るようにする。

2 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点と見取り
導入	<p>1 礼儀について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校班で車が停まってくれたとき、どうするかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうして挨拶するのでしょうか。</p> </div> <p>「気持ちがいい。」「停まってくれたから。」 「感謝を伝えるため。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をするとお互いが気持ちよくなることを確認する。 その他に、お互いが気持ちよくなる行動を考える。 <p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おたがいが気持ちよくなるには、どうすればよいのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 登校班のイラストを提示する。
展開	<p>3 資料「江戸しぐさに学ぼう」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸しぐさを知る。 江戸しぐさを体験する。(動作化) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「かた引き」や「こぶしうかせ」を体験してどんなことを感じましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「かた引き」を体験する。 代表を決め、教室の中で狭いところを歩く。 「かた引き」を体験し、感想を発表する。 <p>「相手を思うことが大切だと思った。」 「ぶつかると嫌な気持ちになる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こぶしうかせ」を体験する。 長イスに2人座り、もう1人が座れるようにする。 体験しての感想を発表する。 <p>「譲ってくれるとうれしい。」 「ありがとう。」 「座れてよかった。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>江戸に住む人たちは、どんな思いから、江戸しぐさをしたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「かた引き」のとき、笑顔の男の人の思いを捉える。 <p>「お先にどうぞ。」 「譲ります。」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りのポイント (体験的な学習)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①テーマにおける自分の考えを演じている。 ②「自分なら」とイメージして行動している。 ③友達の演技を見て、さらに理解を深めている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見取りの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習から表出する児童の様子 体験的な学習を見ることから表出する児童の様子 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見取りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか </div>

3 板書



4 学習シート

道徳 月 日 ()

名前 ()

テーマ

資料名

一 どんなことを行っていますか。また、それはどうしてですか。

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだことや感じたことを書きましょう。

(メモ)

挿絵(ことうぶうかせ)

VI 学習シートの記述例

道徳 9月14日(木)

名前 ()

テーマ
資料名
手品師

一 自分だったらどちらを選びますか。選んだわけも書きましょう。

夢
迷っている
約束

自分の事も大事だし、でも一人でもよろこんでくれている子がいると思うと迷います。


夢
迷っている
約束

二 テーマについて、今日学んだことや感じたことを書きましょう。

もしこの話が自分だったらと思うと、私はゆうい、うふだんもあるの、やはり迷いに迷ってしまってます。でもこの手品師は約束の方をえらんで後かいてないところかすこいです。

(メモ) 後かいてない方に決めることができよかったですね。自分のこととして考えることができましたね。

手品師の挿絵



道徳 7月14日(木)

名前 ()

テーマ
資料名
手品師

一 自分だったらどちらを選びますか。選んだわけも書きましょう。

夢
迷っている
約束

今夢のためにがんばっているから、二度もないチャンスをおかしたくないし、男の子には次の日にも会えるから。


夢
迷っている
約束

二 テーマについて、今日学んだことや感じたことを書きましょう。

この手品師は約束を選んだ理由が最後の最後で分かりました。自分だったら夢を選んだけれど、手品師は男の子をうらやましくなく笑顔になってほしいという思いが強くていい性格だと思いました。

(メモ) 自分のこととして考えていてとてもよいです。約束を選んだ理由がよく分かりましたね。

手品師の挿絵



道徳 9月22日(金)

名前()

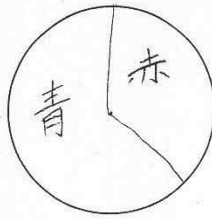
テーマ

いかりを表す気持ちと相手を許す気持ちについて考えよう。

資料名

フランクに乗りとじエロ

一 心情円盤で表し、わけも書きましょう。



自分の出番がなくてくやし
けど練習してきたらつし
スターというのはそれほ
えんぎをしなければダメ。つらさを分
かってもらえた。

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだこと・感じたことを
書きましょう。許せるものではないですね。

いじエロはサムに対してこのまうな広い心で許した
けど松がじエロだったらサムに対してのいかりが
強いと思います。でもサムに対して優しい気持ち
ちを持つじエロはすこいなと思います。

(メモ)

じエロのサムを思う気持ちも
分かりましたね。

サムの
挿絵

道徳 9月22日(金)

名前()

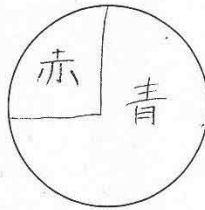
テーマ

いかりを表す気持ちと相手を許す気持ちについて考えよう。

資料名

フランクに乗りとじエロ

一 心情円盤で表し、わけも書きましょう。



今までスターになるために無理をして
やってきたことに気づいたけど、なぜそれくらい
無理をしてまでスターをうばおうとしたの
かと思いたから。

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだこと・感じたことを
書きましょう。

いつも弟とケンカをするけれど、ケンカしていかりを
もっているときは、本当はこんなことを思っていたんだと、
初めて気づきました。自分かっこをふり返ることが
すばらしい気がしてきました。

(メモ)

サムの
挿絵

道徳 九月二十八日(金)

名前()

テーマ

キーマリを守ることにについて考えよう。

資料名

シンガポールの思い出

一 自分だったらどちらを選びますか。選んだわけを書きましょう。

賛成

迷っている

反対

たしかに、キマリを作れば国はきれいになるが、ただこわくてやらないだけなので、キマリを作りたいという人間の心は去ってないから。

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだことや感じたことを書きましょう。

シンガポールは、テレビなどで名前前は知っていたが、きびしいキマリがあるとは知らなかった。とてもおどろいた。たしかに日本は、キマリをよく見かけるが、シンガポールのよつなキマリは

(メモ)

キマリを作るのは心が育たないという考え方はとても良いですね。

シンガポールの写真

作ってはいくつかあります。

道徳 10月6日(金)

名前()

テーマ

おたがいが気持ちよくくらすにはどうすればよいだろう。

資料名

江戸しく々に学ぼう

一 どんなことを行っていますか。また、それはどうしてですか。

電気を消す・しゃ口をしめる・節電・節水のたまたまあけしめ・虫退治の入れ替え・ゴミをいれさるために席ゆすり・年配の方にはすわってもらうため

二 テーマについて考えたことや今日の授業で学んだことや感じたことを書きましょう。

世の中には、いろいろな心づかいがあるので、これからもやていきたいです。親切にしてあげても、何か言い返される時があります。でもこわがらないで声をかけていきたいです。

(メモ) いろいろな心づかいで気持ちよく生活ができていますね。

たまにえういうこともありですね。えうとするのもやさしさをですね。

こぶしうか
せの挿絵

チャレンジ! 道徳

手品師と男
の子の挿絵

道徳通信
N O . 1
平成 29 年
9 月 22 日
発行 赤瀬光雄

よろしくお願ひします。

9月から5年1組で週に1回授業をしています。「チャレンジ 道徳」では、道徳の授業の様子、子ども達の声、感想を紹介したいと思っています。よろしくお願ひします。

道徳の授業をする赤瀬光雄(あかせみつお)です。

今年度で南小9年目になりました。「お兄ちゃん、お姉ちゃんのおかげには大変お世話になりました。」というご家庭もたくさんあり、うれしさと共に、時の流れの早さを感じています。「家庭訪問のときのあの子がこんなに大きくなったのかあ。」と実感するお子さんもしました。

今年の4月からは花巻の総合教育センターで来年度から教科になる「道徳」について研修をしています。研修したことを基に5年1組で授業実践をしています(全部で5回の予定)。子ども達の成長や学習の様子を捉え、たくさん良いところを見つけたいと思っています。

「誠実な生き方」とは?手品師の選択を考える。

9月14日に第1回目の授業を行いました。5年1組は、進んで学習する雰囲気があり、たくさん発表しました。また、手品師の選択について、自分のこととして考えることができました。また、友達の考えを聞いて、考えを広げたり、深めたりする姿が見られました。

話のあらすじ

うではいいがなかなか売れない手品師は、いつか大劇場に出ることを夢見ている。

ある日、街で一人の男の子に出会った。かわいそうな男の子のために手品を見せ、次の日も来ることを約束する。

その夜、手品師は友人から大劇場に出ないかという誘いをうけるが、迷いに迷った結果、断る。

翌日、手品師は約束通りに、たった一人の客の前で、すばらしい手品を演じていた。

手品師がかわいそうな男の子に手をさしのべる挿絵

授業では、手品師は男の子との約束を選びましたが、「自分だったらどうするか。」について話し合いを行いました。以下は子ども達の振り返りの記述です。

- ・手品師が「約束」を選んだ理由が最後の最後で分かりました。自分だったら、夢を選んだけれど、手品師は男の子を「うらぎりたくない。」「笑顔になってほしい。」という思いが強く、いい性格だと思いました。
- ・ぼくは夢を選んだけど、みんなの話を聞いて、約束を選んだ理由が分かりました。
- ・自分が手品師だったら、夢を叶えてから会いにいけばいいと思ったけど、男の子に手品を見せたいという気持ちが誠実だと思いました。
- ・もしこの話が自分だったらと思うと、私は優柔不断なので、迷いに迷ってしまいます。この手品師は約束の方を選んで後悔していないところがすごいです。
- ・自分は約束だとずっと思っていたけど、夢もいいなとも思ったので、どちらを選んでも間違えていないと思いました。
- ・もし手品師が夢を選んでいたら、男の子が悲しんだと思います。約束を選んだから、すばらしい手品ができたんだと思います。
- ・手品師は大切な方を選んでいました。私はときどき友達がいる方につられてしまうときがあります。これからは自分で好きな方を選んでいきたいと思います。
- ・他の人のためなら、こんなに悩めるんだと思いました。友情っていいなあと思いました。
- ・自分が目指していたことをしっかり行っている手品師が、なんかとてもカッコイイと思いました。
- ・相手に自分のことを判断させずに、自分のことだから自分で判断し、先を見通す人になりたいです。
- ・ぼくは友達と遊ぶ約束をしていて、たまに行かないことがあったので、寂しい心でまっていたんだなあと思いました。

人生には正解がない選択を迫られる場面が必ずあります。そのとき、何を基準にするかは、人それぞれ違います。こういった場面で自分ならどうするか、考えることがとても大切です。それと同時に、友達の考えを聞いて考えを広げることも大切です。みんながとても真剣に考えたとてもよい授業になりました。手品師は自分自身に誠実に考えた結果、約束を選びました。実話ではない、ファンタジーの世界ですが、とても考えさせられる教材です。

男の子の前で手品をする手品師の絵



チャレンジ! 道徳

ピエロとサム
が握手する絵

道徳通信
N O . 2
平成 29 年
9 月 29 日
発行 赤瀬光雄

「相手を許す気持ち」とは？ピエロの選択を考える。

9月22日に第2回目の授業を行いました。怒りの気持ちと相手を許す気持ちについて、「ブランコ乗りとサム」という資料を使って学習しました。陸上記録会、縄跳び大会という大きな行事に取り組んでいるところですが、友達の発表をよく聞き、自分のこととしてよく考えた1時間でした。学級の雰囲気がとてもよく、私も授業をしていてとても気持ちよかったです。

話のあらすじ

サーカス初日、大王の前で出番をもらえたのは、馬の曲芸と空中ブランコ、ピエロだけだった。サーカス団のリーダーであるピエロは、ブランコ乗りのサムに、いつものように自分だけが目立って時間を延ばさないように言う。しかし、サムは約束を守らず、ピエロは大王の前での出番をなくし腹を立てる。初日は大盛況で幕を閉じたが、控え室に集まった団員たちはサムへの怒りとピエロへの同情で口を閉ざす。無視されたサムは腹を立てるが、ピエロはサムの演技と終わった後の姿を見たことで、自分もよい演技ができたことを話す。そしてサーカス団のためにもお互い自分だけがスターだという気持ちを捨てるように話し、2人の関係は改善され、さらによりよい演技となった。

ピエロとサム
がすれ違う絵

授業では、時間を守らないサムを許せるか、許せないかについて話し合いを行いました。以下は子ども達の振り返りの記述です。

- ・私は約束を破ったら、許さないと決めている。だけど、友達の考えを聞いて、がんばってくれたから少しは許してもいいかなと思った。相手の気持ちを考えて生活したい。(〇〇さん)
- ・今日は友達の話聞いて、怒りがある人や許す気持ちがある人がいて、怒りを表す気持ちと相手を許す気持ちを考えることができた。(〇〇さん)
- ・いかりの気持ちをもっている人の意見を聞いて、自分の時間を奪ったとか、そういう考え方もあるんだなあと思った。けれど自分は許せると思った。(〇〇さん)

- ・自分はだいたい何でも許しているけど、別の人は怒りの気持ちが強くて、それぞれ許す気持ちと怒りの気持ちは違うんだと思った。(〇〇さん)
- ・ピエロはサムに対して、このような広い心で許したけど、わたしがピエロだったらサムに対しての怒りが強いと思います。でも、サムに対して優しい気持ちをもつピエロはすごいと思いました。(〇〇さん)
- ・今まで妹や弟に何かされると、すぐにおこっていたけれど、この勉強をして、もう少し許す気持ちをもった方がいいと思いました。(〇〇さん)
- ・家で兄弟が多いせいか、嫌なことがあるとすぐにカッとなってしまうところがあって、許すということがなかなかできない私なので、サーカスの話を聞いて、これからはちよっと心を広くしていきたいです。(〇〇さん)
- ・ちょっとだけ許す気持ちはあったけど、怒りの気持ちもあるので、やっぱりぼくは、半分ぐらいだなあとと思いました。(〇〇さん)
- ・ぼくは許せなかったけど、友達の考えを聞いて、許して広い心で受け止めるのも大切だと思った。ピエロはサーカス団のリーダーにふさわしいと思った。(〇〇さん)
- ・今日の学習で、わたしは100%許すことはできないけど、しっかりその人の「心の中」をよく見たいと思いました。(〇〇さん)
- ・人が何かを許すときは必ず優しく、広い心が表れるものだと分かりました。自分はそういうところが足りないと思うので、普段の生活の中で行っていきたいです。(〇〇さん)
- ・最初、ピエロはイライラしていたけど、サムの気持ちも分かってイライラが少なくなりました。人は、相手の気持ちが分かれば、その人を許せるのだということが分かりました。(〇〇さん)
- ・だれでもイライラする時はあるけど、時には相手の気持ちを考えてみて、許してあげることが大切なんだあと今日の授業で思いました。(〇〇さん)

誰かに約束を破られれば、誰もが嫌な気持ちになります。でも、時には相手の気持ちを考え、許すことも必要です。そうすることが、みんなのためになるからです。ちょっと大人になることが必要ですね。なかなかできないことかもしれませんが、そういう気持ちで生活することときには必要ですね。

サムの挿絵

チャレンジ! 道徳

シンガポールの
写真

道徳通信
N O . 3
平成29年
10月6日
発行 赤瀬光雄

きまりは多い方がいい？

9月29日に第3回目の授業を行いました。きまりを守ることについて、「シンガポールの思い出」という資料を使って学習しました。陸上記録会が終わり、南小フェスティバルに向けて、準備を進めている中での授業でしたが、今回も本当によく考え、自分の意見を活発に発表しました。

話のあらすじ

シンガポールから帰国した主人公が、日本の町の様子に違和感をもつ。シンガポールでは、たくさんのきまりで町の環境を維持している。それに対して日本はたばこが捨てられ、自転車が乱雑に置かれているような状態である。シンガポールの町並みがきまりを多くすることで成り立っていることを良いと思っている主人公が、本当にそれで良いのかを考え始めるという内容である。

シンガポールのき
まりの挿絵

今回も授業では、たくさんのきまりで生活をよくすることに賛成か、反対かという内容で話し合い、きまりの意味について考えました。以下は子ども達の振り返りの記述です。

- ・ゴミをポイ捨てすると罰金を払うことに賛成の人と、反対かの人の心の違いは何か、疑問に思った。(〇〇さん)
- ・日常でポイ捨てをしないように心がけたいし、他のルールもきちんと守りたいです。(〇〇さん)
- ・きまりを守ることは大事だと思ったし、日本がもう少しきれいな国になってほしいと思いました。(〇〇さん)
- ・ぼくはそもそもポイ捨てをしなければいいんじゃないかと考えました。あと世界にはいろいろな法律があるのだなあとわかりました。(〇〇さん)
- ・きまりがありすぎて、シンガポールを嫌いになる人が増えてしまうので、もう少し楽

に暮らせる方がいいなあと思いました。(〇〇さん)

- ・自分の意見が最後に迷ってしまったので、次は一つに決められるような理由をもちたいです。(〇〇さん)
- ・町の中できまりを作ることはいいが、作りすぎると地域の人に迷惑をかけることがわかりました。これからもポイ捨てをしないようにしたいです。(〇〇さん)
- ・私は罰金を払うことで町をきれいにしようという意識は高くなると思うけど、ルールがありすぎて、不便で窮屈にもなると思うので迷ってしまいます。(〇〇さん)
- ・私は、ゴミの投げ捨てはしたことがないけど、もし日本がシンガポールと同じルールだったら、無理やりやらされているようで、とても嫌な気持ちになると思いました。(〇〇さん)
- ・きまりをいっぱい作れば、町もきれいになるけれど、それでは自由がないのでダメだと思う。でも、きまりを作らなければポイ捨てやそういうのが多くなってしまうので迷いました。(〇〇さん)
- ・きまりやルールにしばられるより、自分からしないという心をもって、少しでも楽に生活できたらいいなあと思いました。(〇〇さん)

確かに、きまりが多いと町の環境はよくなります。でも、きまりが多すぎると不便で窮屈な感じがしますね。きまりがなくても一人一人が意識して生活することが一番いいですが、現実的に難しいのも事実です。

「迷ってしまって決められない。」という考えもたくさんありました。それでいいと思います。迷っているということは両方の立場になって考えている証拠です。これからの人生で迷うことはたくさんあります。その時、決めるのは自分です。何を大事にするか、そういうことを学ぶのが道德の時間だと思っています。

きまりについて
の写真

私がする道德の授業も来週で最後になります。最後までどんな授業になるか楽しみです。

チャレンジ！ 道徳

こぶしうかせの
挿絵

道徳通信
N O . 4
平成29年
10月13日
発行 赤瀬光雄

お互いが気持ちよくくらすために必要なことは？

10月13日に「お互いが気持ちよく暮らすためにはどうすればいいか」というテーマで第4回目の授業を行いました。「江戸しぐさに学ぼう」という資料を使って、実際に体験したり、考えたりしました。南小フェスティバルに向けて、練習が本格的になっている中での授業でしたが、自分の生活を振り返り、自分の意見をどんどん発表しました。

話のあらすじ

300年もの長い間、平和が続いた江戸時代に色々な生活習慣が生み出され、これを「江戸しぐさ」と呼び、今に生きる知恵として役立つ動きがあります。江戸しぐさには「かた引き」「こぶしうかせ」「かさかしげ」「おつとめしぐさ」などがあります。

かた引きの挿絵

今回の授業は、お互いが気持ちよくくらすためにしていることを振り返ったり、それをどうしてしているかを考えたりしました。以下は子ども達の振り返りの記述です。

- ・江戸の人たちはお互いのことを思いあっていたので、現代の人たちも江戸の人たちのことを見習っていけば良いと思います。(〇〇さん)
- ・今日の授業で、いろいろなしぐさがあって、お互いが気持ちよくなるためにはお互いが気づかえればいいと思いました。(〇〇さん)
- ・じゃ口を下向きにする以外にもしていたことが良いことだとわかりました。相手の気持ちを知ってみたいです。(〇さん)
- ・じゃ口が上になっているとき、下に向けるだけでなく、これからは言葉や自分がやる態度を形にして、みんなのためにもっともっと働きたいです。(〇〇さん)
- ・今日は「お互い気持ちよくくらすために」というテーマで学習して、日常でもきまりみたいなものを作ればいいと思いました。自分自身でやることが大切だとわかりました。(〇〇さん)

- ・昔の人はいろいろな気づかいをして、不便だったと思うけど、気づかいをすると、した人もされた人もいい気持ちになることがわかりました。(〇〇さん)
- ・人が困っていたら話しかけたいです。でも、自分も嫌な気持ちになってしまうことがあるので、そこをどうにかしたいです。(〇〇さん)
- ・ぼくは、今日昔やっていた、人の気づかいを勉強して、今は子ども同士のけんかが多いけど、昔は気づかいをしてくれているので、とても平和だと思いました。(〇〇さん)
- ・普段、自分たちが何気なく行っていることは、昔の人もやっていたと聞いて、今に伝わっていることがすばらしいと思いました。今度はわたし達が伝える番だと気付くことができました。(〇〇さん)
- ・江戸しぐさに学ぼうを学習して、最初は意味がわからなかったけど、普段家でやっていることだとわかりました。(〇〇さん)
- ・わたしは、いいことをされたこともあるし、したこともあるので、いいことをすれば、みんなだって気持ちいいし、自分だって気持ちいいので、もっといいことをしてあげると、みんなが気持ちよく生活できると思います。(〇〇さん)
- ・みんなの意見を聞いて、自分にもできることがありました。まだまだ自分もみんなのためになれると思いました。(〇〇さん)
- ・今日の学習で、江戸の人たちはとても広い心をもっているなあと思いました。また、わたしが普段やっていることにも名前がついていたのでびっくりしました。(〇〇さん)
- ・私は登校するとき、会った人にあいさつをしています。あいさつをすると返してくれるのでうれしくなります。(〇〇さん)
- ・江戸時代にもゆずり合いがあって、ちょっとしたことでも親切にしてあげることが、今でも似ているなあと思いました。(〇〇さん)

5年1組の人たちは、日頃から江戸しぐさのようなしぐさ（行動など）をしていることがわかりますね。でも、「声をかけたら、無視された、文句を言われた。」ということも出されました。時と場に応じて、声をかけたり、手を差しのべたりすることも大切です。最も大事にしたいことは、相手の気持ちを考えるということです。そっとしておく優しさもあるかもしれませんね。

チャレンジ！ 道徳

手品師の挿絵

道徳通信
最終号
平成29年
11月15日
発行 赤瀬光雄

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

9月から5年1組で週に1回授業をしました。「チャレンジ 道徳」では、道徳の授業の様子、子ども達の声、感想を紹介してきましたが、今回で最終回になりました。5回という限られた授業でしたが、子ども達との授業はとても楽しく、とても考えさせられました。1組の子ども達はよく考え、よく発表し、よく書きました。友達の考えを聞いて考えを広げたり、自分のこととして深く考えたりして、大きく成長したように思います。

現在、わたし（赤瀬）は今回の5回の授業を基にして、子ども達がどんなことを考えたのか、話しているのか、書いているかを分析し、研究を進めている最中です。

「手品師」の挿絵

「ブランコ乗りとピエロ」の挿絵

4回の道徳の授業を通して感じたことを教えてください。

今回は全員の感想を載せました。理由はこの通信（NO. 1～4）を読んで、「他の人の意見が思い出せるのでずっと大事にとっておこうと思いました。（〇〇さん）」「みんな自分の思いがしっかり伝わる感想で、見ていて心にジーンとくるものがあった。（〇〇さん）」などうれしくなる感想がたくさんあったからです。ちょっと遅くなりましたが、思い出してみてください。

児童名	道徳は人の心を大事にするということがたくさん載っていました。だからぼくも大事にしたいと思いました。
児童名	人間にはいろいろな感情があることを感じました。自分とは違う考えがそれぞれありました。
児童名	みんないろいろな意見が出ていていいと思う意見やそうは思わない意見がたくさんありました。
児童名	これまでの話で、自分の立場だったらどうするかについての話し合いを通して、いろいろな考えがあるんだなあと感じました。
児童名	友達の意見を聞いて自分の考えが変わる時・変わらないときがあるということを感じた。

児童名	友達の考えを聞いて、自分よりすごいと感じたので、参考にしたいと思いました。道徳の授業をしているうちに道徳が好きになりました。
児童名	ぼくは、今までただ読んでいたけど、いろいろな考えがあるんだあとと思いました。今までもったいなかったと感じました。
児童名	自分と違う考えがたくさんあるなあと思った。すごく頭を使うなと思いました。
児童名	自分では、気付かなくて迷っていたところを友達の意見を聞いて「そうか」と思って、友達って大切だと思いました。
児童名	今まではほとんど自分のことばしか聞けなかったけど、手紙や他の人の発言で、そういう考え方もあるのかなと思って考えを広げられました。
児童名	テーマについて考えたことに共通点があったり、違う点があったりすると思った。自分の考えの変わり方を感じることができました。
児童名	友達の考えを聞いたり、自分が発表したりして、とても楽しかったです。また、色々な先生がこられていたので、人に見てもらえるものなれました。
児童名	思いは一緒でないことが多い。伝え方がそれぞれ違う。思いやりの心は生きていて一番大切なことなんだと思いました。
児童名	生活に使えることや、心の運動のような感じで道徳が感じるようになって好きになった。
児童名	みんないろいろな考えをもっているんだなあ～。道徳はいい授業だなあとと思いました。
児童名	昔のことやいろいろな国の法律について考えられて、昔のくらしや国の法律が不便なことに感じました。いろいろな意見を知れて良かったです。
児童名	話の中でどんなことを想像したらいいかや、人の考えを聞いて、「なるほど」と言えるので、国語などにいかせそうだなあとと思いました。
児童名	今まで知らなかったことや新しく知ったことがたくさんあった。人の心を大事にすることも分かりました。
児童名	他の人のテーマについて学んだことや感じたことが分かったし、自分の感じたことを知ってもらえて良かった。道徳への親近感がわいてきました。
児童名	自分でも考えられないくらい、たくさん挙手をして、発言して、道徳が楽しかったです。
児童名	いろいろなことを許したり、自分で決めたりすることが大事だと感じました。
児童名	自分の生活を改めて振り返ることができたから、真剣に考えることができ、いい期間だと思いました。
児童名	自分の思ったことをしっかり伝えられるいい学習だったと思います。みんなの発表が今までの経験から感じ取った深い発表だったと思います。
児童名	いろいろな人の意見を聞いて、いろいろな考え方があるなと思った。自分とは違う考えをしていると感じた。
児童名	私はあまり考える機会がなかったけど、今回の授業を通してたくさん考える

	ことができたので、授業をやらしてもらってよかったと思います。
児童名	自分の考えが道徳通信にのっていたので、びっくりしました。すこし自分で考えられるようになりました。
児童名	4つのお話に出てくる人は、みんな相手の気持ちをよく考えているなあと感じました。
児童名	自分が気付かない心の声があったし、友達の気持ちが分かった。みんなの感想を知ることができ、「こんなふうに思っているのか。」と思いました。
児童名	なんか自分の未来が、いくつも浮かび上がってくる。なんか、自分の未来が見えてくるなあと思いました。
児童名	自分が人物になったつもりで考えてみれば自分の考えが広がると思いました。
児童名	人と考えが違って、これは自分の考え。算数は答えが一つしかないけど、道徳は答えがないので、楽しいです。
児童名	他の人の考えを聞いて、「ああなるほどなあ」と思うものがいろいろあるので、わたしも「なるほどなあ」と思ってもらえるようになりたいです。
児童名	これからは自分の好きな方を選んでいきたいと思いました。クラスのみんなのことたくさん知ることができました。
児童名	先生や友達の話聞いて、「それぞれなんだなあ」と思いました。みんなの意見がいろいろあると思いました。
児童名	いろいろ困ったことがあって、いろいろな気持ちになれていいかなと思いました。
児童名	みんなが、「こんなこと考えているんだなあ」と思いました。江戸の人は優しいなあと思いました。
児童名	わたしは将来の夢が義肢装具士で、患者さんと話すとき「でもこうなっているのなら、こうしたら」など笑顔で話せそうだと思います。
児童名	一つのことについて色々なことを考えられました。今までの経験について考えられました。
児童名	この機会、道徳が好きになれたし、挙手の回数がものすごく増えるようになりました。

友達の考えを聞いて、考え方が広がっていることが分かりますね。相手の考えを受け入れた上で、自分だったらどうするかについて真剣に考えましたね。これがとても大切なことだと思います。世の中にはいろいろな考え方があります。これから生きていく上で正解のない問題にたくさんぶつかるでしょう。でも、そんなとき、周りの人の意見を聞いた上で、最後は自分が決めた道を進むことが、後悔のない人生を歩むことになると思います。

私はみんなとの授業を基に3月まで研究を続けます。2月には、今回の授業について発表をしますので、こちらをがんばっていきましょうと思っています。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

Ⅷ 実際の評価例

1 実際に配付した手紙

さん

「シンガポールの思い出」の学習では、きまりで生活を良くすることに対して、良い点と悪い点の両立の立場から考えることができましたね。友達のを考えを受け入れたり、自分の考えと比べたりして、様々な立場から考えていてすばらしいです。

赤瀬 先生

さん

登場人物の気持ちをよく考え、話し合いを通して、自分の考えを広げることができましたね。礼儀の学習では、進んで江戸しぐさに取り組み、お互いが気持ちよくなる行動についてしっかり考えましたね。

赤瀬 先生

2 全児童分の実際の評価（教材順）

	評価	見取りのポイント (pp. 1-3 参照)	評価例	文字 数
児童名	横	多・多① 多・多②	「手品師」の学習では、約束が大切だという友達の考えを受け入れながら、夢を選ぶという自分の考えをもちました。友達の考えを聞いて自分の考えを広げることができました。	82
児童名	横	多・多① 多・多②	「手品師」の学習では、手品師が約束を守ろうとする思いを、男の子の立場になって考えました。友達の意見から「手品師が約束を選ぶ」と判断した考えを理解し、自分の考えを広げることができました。	92
児童名	縦横	学習状況 多・多①	道徳の授業では、よく考え、たくさん挙手ようになりました。「手品師」の学習では、夢か約束かを悩む手品師の立場になって、様々な視点から考えることができました。	80
児童名	横	多・多① 学習状況	「誠実」について考える授業では、手品師が自分の夢か、男の子との約束かについて悩んでいたことを理解した上で、約束を選ぶという自分の考えをしっかりとつことができました。友達の話を良く聞き、よく考える姿が見えました。	104
児童名	横縦	多・多① 自分②	「手品師」の学習では、手品師の気持ちを男の子の立場になって考えたり、手品師の未来について考えたりしました。道徳の学習を通して、自分を振り返り、自分の意見をまとめることができるようになりました。	97
児童名	横縦	多・多③ 多・多②	「手品師」の学習では、手品師と男の子の両方の立場になって考えました。友達のいろいろな考えを受け入れながら、自分の考えを広げることができるようになりました。	77
児童名	縦横	多・多② 多・多③	道徳の授業では友達の考えを聞いて、自分の考えを広げることができるようになりました。「手品師」の授業では、夢か約束かで迷う手品師の気持ちを両方の立場になって考え、自分の意見をもちました。	93
児童名	横	自分① 多・多③	「誠実」について考える授業では、手品師の気持ちを「自分だったら」と具体的にイメージして考えることができました。夢を実現させたい思いと約束を守りたいという主人公の気持ちを両方の立場から捉えました。	96
児童名	横	自分①	道徳の授業では今までの生活を振り返りながら自分のこととして考えました。「手品師」の学習では、手品師の行動の理由を理解し、男の子との約束を選んだ手品師の判断について自分と重ねて深く考えることができました。	102

	評価	見取りのポイント (pp. 1-3 参照)	評価例	文字 数
児童 名	横	自分④	「手品師」の学習では、約束を選ぶということはとても難しいことだと捉え上で、手品師の立場になって考えました。登場人物の気持ちを自分のこととして捉え、「誠実」について深く考えることができました。	95
児童 名	横	自分④	「手品師」の学習では、手品師が自分の夢よりも約束を選ぶことはとても難しいことだと捉えました。登場人物の行動を理解し、自分のこととして「誠実」について深く考えることができました。	87
児童 名	横	多・多②	「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、きまりを守らないブランコ乗りに対する怒りの気持ちを友達の考えを聞いて理解しました。登場人物の気持ちの変化を捉え、自分とは違う考え方も受け入れることができました。	100
児童 名	横	多・多②	「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、友達の考えから相手を許すことを理解し、自分の考えを広げることができました。友達の話を聞き、相手の立場を理解した上で、自分の考えをしっかりとつことができるようになりました。	103
児童 名	横 縦	多・多③ 自分①	「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、ピエロの気持ちを考える学習を通して、相手を許すことはとても大変なことだと捉えました。自分の生活を振り返り、広い心について自分のことと重ね合わせて、考えることができるようになりました。	109
児童 名	縦 横	学習状況 自分②	道徳の授業では、自分の考えを発表しようと、よく考えている様子が見えるようになりました。「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、ピエロの気持ちの変化を捉えこれから広い心をもって生活しようとする決意をもつことができました。	108
児童 名	横 縦	自分④ 自分②	「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、主人公の気持ちを考える学習を通して、相手を許すことはとても大変なことだと捉えました。自分の生活を振り返り、自分の家族との接し方と結びつけて考えることができるようになりました。	106

	評価	見取りのポイント (pp. 1-3 参照)	評価例	文字数
児童名	縦横	自分② 自分④	道徳の授業では自分の生活を振り返って、自分のこととして考えるようになりました。「ブランコ乗りとピエロ」の学習では、広い心で接することはなかなか難しいけど、相手の立場になることが大切だと実感することができました。	112
児童名	横	多・多①	「シンガポールの思い出」の学習では、たくさんルールを作ることで、町が綺麗になるという良い点がある一方で一人一人が意識することでルールにしばられないで楽にできるという考えを記述することができました。	100
児童名	縦横	多・多①	道徳の授業を通して友達の考えを受け入れたり、自分の考えと比べたりして、様々な立場から考えることができました。「シンガポールの思い出」の学習では、きまりがたくさんあることの良い点と困る点について両方の立場から考えました。	116
児童名	縦横	学習状況 多・多①	みんなの話を良く聞き、進んで発言したり学習プリントに書いたりして、意欲的に学習に取り組むようになりました。「シンガポールの思い出」の学習では、きまりが多くなることに対する良さと問題点について、両方の立場から考えることができました。	112
児童名	横	学習状況 多・多②	自分の考えを積極的に発表することができました。また、「シンガポールの思い出」の学習では、きまりがたくさんあることについて、賛成か、反対かを、両方の立場になって深く考えました。	88
児童名	横	多・多③	「シンガポールの思い出」の学習では、きまりで生活を良くすることに対して、良い点と悪い点の両方の立場から考えることができました。友達の意見を受け入れたり、自分の考えと比べたりして、様々な立場から考えました。	103
児童名	横縦	多・多③	「シンガポールの思い出」の学習では、きまりがたくさんあることについての良い面と悪い面を捉え、そこから自分の考えをまとめました。いろいろな立場から捉え日常生活と結びつけて考えることができるようになりました。	106
児童名	横	学習状況 多・多③	道徳の授業では自分の生活を振り返ったり、友達の考えを聞いたりして、自分の考えをしっかりとちました。「シンガポールの思い出」の学習では、町が綺麗になる良さときまりにしばられる問題点の両方の立場になって考えることができました。	112

	評価	見取りのポイント (pp. 1-3 参照)	評価例	文字 数
児童 名	横 縦	自分①	「シンガポールの思い出」の学習では「きまりを多くするだけでは心が育たない」という自分の考えを発表しました。自分の生活を振り返りながら、生活をよくしようとする考えを発表したり、記述したりすることができるようになりました。	109
児童 名	横	自分① 学習状況	道徳の授業では、シンガポールのきまりや江戸しぐさについてよく考え、きまりや礼儀についての自分の意見をもつことができました。進んで手を挙げて発表しようとする気持ちが伝わりました。	89
児童 名	横	学習状況 自分①	道徳の授業では自分のこととして、よく考える姿が見えました。「シンガポールの思い出」の学習では、たくさんルールがあることに対して、自分たちで考えて行動することが大切だという考えをもつことができました。	99
児童 名	横	多・多② 体験的な学習	登場人物の気持ちをよく考え、話し合い活動を通して、自分の考えを広げることができました。礼儀の学習では、進んで江戸しぐさに取り組み、お互いが気持ちよくなる行動について考えました。	89
児童 名	横 学	自分② 学習状況	「江戸しぐさ」の学習では、「困っている低学年に対して声かけをしている」という自分の生活を振り返り、これからの生活についての決意をまとめることができました。友達の考えをしっかりと聞き、進んで学習に取り組みました。	105
児童 名	横	自分②	「江戸しぐさ」の学習では、お互いが気持ちよくくらすためにしていることを、自分の生活を振り返りながら考えました。そこから相手を気づかって生活しようとする決意をもつことができました。	90
児童 名	横	自分②	道徳の授業では、学習したことをいかして自分の生活を振り返ることができました。「江戸しぐさ」の学習では、普段行っていることが、気持ちよい生活につながると気付きました。	83
児童 名	縦	自分②	友達の話をよく聞き、進んで自分の考えを発表することができるようになりました。道徳の学習を通して、今までの生活を振り返って、みんなが気持ちよく生活するために、自分にできることやこれからの生活にいかせることを学習シートに記述しました。	116

	評価	見取りのポイント (pp. 1-3 参照)	評価例	文字数
児童名	横	体験的な学習 自分②	礼儀の学習では、江戸しぐさを学び、進んで「こぶしうかせ」を体験しました。「お互いが気持ちよくなる行動」について自分の体験を振り返りながら、これからの行動について考えることができました。	93
児童名	横	体験的な学習 自分②	礼儀についての学習では、実際に江戸しぐさを体験し、相手を思いやる気持ちについて考えることができました。お互いが気持ちよく生活するためにどうすれば良いかについて、自分の生活を振り返って自分にできることを発表しました。	108
児童名	横	自分③	道徳の授業を通して自分のことを振り返ったり、友達の考えを聞いたりして、深く考えることができました。「江戸しぐさ」の学習では、友達の意見から自分にもできることを考え、みんなが気持ちよく生活できることを進んで行おうとする態度が見えました。	118
児童名	横	自分④	「江戸しぐさ」の学習では、お互いが気持ちよくくらすためにどうすれば良いかについて考えました。また、自分自身のことを振り返り、困っている人がいたら声をかけることの難しさも捉えることができました。	97
児童名	横 縦	自分④	「江戸しぐさ」の学習では自分の生活を振り返り、自分から声をかけることの難しさを捉えることができました。お互いが気持ちよく生活するために、自分にできることを進んですることが大切だと考えることができるようになりました。	111
児童名	縦	自分②	道徳の授業を通して自分の生活を振り返り、相手の気持ちを考えて行動することが大切だと考えました。自分を見つめ直し、自分の考えを進んで発表することができるようになりました。	79
児童名	縦	自分②	道徳の学習では、自分のこととしてきまりや礼儀について考えることができるようになりました。自分の生活を振り返り、これからの生活にいかそうとする前向きな態度が見えました。	78

道徳アンケート1

_____番 _____名前_____

1 4つの授業の中で心に残っている授業はどれですか。それはどうしてですか？

ア 手品師 イ ブランコ乗りとピエロ ウ シンガポールの思い出 エ 江戸しぐさ
わけ

2 友達の考えを聞いて、考えが広がった授業はどれですか。

ア 手品師 イ ブランコ乗りとピエロ ウ シンガポールの思い出 エ 江戸しぐさ
わけ

3 自分のことを振り返って、たくさん考えた授業はどれですか。

ア 手品師 イ ブランコ乗りとピエロ ウ シンガポールの思い出 エ 江戸しぐさ
わけ

4 「道徳通信」を読んでどんなことを思いましたか。

5 この期間の道徳の授業を通して感じたことを教えてください。

道徳アンケート2

____番____名前_____

1 道徳の学習を通して、友だちの考えを聞いたり、話し合ったりする中で、「なるほど」「そういう考えもあるのか」というような自分の考えが広がることはありましたか。

ア よくあった イ どちらかといえばあった ウ どちらかといえばなかった エ なかった

2 主人公の気持ちや行動に対して、「自分だったらどうするか」と聞かれて、今まで気付かなかった自分のことについて深く考えることはありましたか。

ア よくあった イ どちらかといえばあった ウ どちらかといえばなかった エ なかった

3 道徳で使用した学習シートには、コメントがあった方が良いですか。

ア あった方が良い イ どちらかといえばあった方が良い

ウ どちらかといえばなくても良い エ なくても良い

その理由を教えてください。

4 道徳の授業に関わって、うれしかったことはありますか。
(先生・友達・おうちの人に言われたこと、書いてもらったことなど)

ア よくあった イ どちらかといえばあった ウ どちらかといえばなかった エ なかった

アとイと答えた人だけ教えてください。それはどんなことですか。

5 道徳についての通知表(手紙)を配りました。感想を書いてください。

ア あった方が良い イ どちらかといえばあった方が良い

ウ どちらかといえばなくても良い エ なくても良い

その理由を教えてください。

以上です。ご協力ありがとうございました。